



考察

肯定的な評価の割合が16項目中、9項目でアップし、7項目でダウンしていました。その多くが微増・微減でした。

全体として肯定的な評価が高かったのは、「③宿題をやっている。」、「⑥日直や、係の仕事や、そうじを進んでやっている。」、「⑫交通ルールを守っている。」、「⑬地震や台風がきたときに、どうすればよいか知っている。」でした。

一方で、肯定的な評価が低かったのは、「⑦放課には、外で遊んでいる。」、「⑩困ったとき、先生に話したり、相談したりすることができる。」、「⑪自分のよいところがわかる。」、「⑭地域の行事や活動に参加することができた。」でした。その中で、「⑦外遊び」については、昨年より6.5%増でした。教師も一緒に外で遊ぶ姿やペア学年で遊ぶ姿がよく見られました。また、「⑩教師への相談」については、1・2学期に教育相談を行ったり、生活アンケートやいじめアンケートから子どもたちの声を拾ったりしていますが、普段の授業や休み時間での子どもと教師のコミュニケーションを大切に、相談しやすい雰囲気を作っていきたいと思います。「⑭自分のよさ」については、キャリア教育担当を中心に、アドジャンやアサーション、キャリアパスポートのふり返しを行う「なるっこタイム」の充実を図りつつ、ペア学年活動や児童会活動、学級活動を通して、自分や友達のよさに気づける児童を育てていきます。

「⑭地域の行事や活動に参加することができた。」は肯定的な評価が70%を超えました。コミュニティ・スクールや半田市、成岩四区や協和区、三区、西成岩区の行事に参加する児童も増えています。令和8年7月には本校プール跡地に「成岩地域共創センター」がオープンします。地域の行事に児童がさらに参加できる機会が増えることが予測されます。学校からも積極的に情報発信をしていきます。